

日本出版インフラセンター（JPO）プレスリリース

〒162-0828 東京都新宿区袋町6 日本出版会館内 / お問い合わせメールアドレス：uketsuke@jpo.or.jp

関係者 各位

2014年1月28日

一般社団法人日本出版インフラセンター

雑誌コード管理委員会

雑誌コードのいわゆる「10年問題」について

日本出版インフラセンター（JPO）雑誌コード管理委員会（大山恒生委員長：集英社）では、現行の定期刊行物コードのいわゆる「10年問題」について対応を検討してまいりましたが、本日開催された委員会において、添付資料の通り結論を得ましたのでご案内申し上げます。

「10年問題」とは、現在の定期刊行物コードでは、年号表記が1桁なので、10年経過するとコードが重複するという点です。そのことで様々な問題が発生する可能性についても議論いたしました。

結論から言うと、コード体系の変更や予備コードの使用などはせず、現行通りで進めるというものです。

詳しくは添付資料の声明文をご覧ください。よろしくお願いいたします。

以上

2014年1月28日

関係各位

(一社) 日本出版インフラセンター
雑誌コード管理センター

雑誌 JANコード内 年号運用について

平素より、日本出版インフラセンター（JPO）および雑誌コード管理センターの活動に、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2004年6月1日発売の新刊送品より運用を開始いたしました「定期刊行物コード(雑誌)」（通称：JANコード）の表記について、今年の6月で10年が経過いたします。

このコード体系の中の「年号」の表記部分において、10年前と重複する定期雑誌が発生する問題につきまして、雑誌コード管理委員会（大山恒生委員長 [集英社]）にて検討を行って参りました。今回、その対応が決定いたしましたので以下のようにご案内申し上げます。

【内容】

- ・2004年6月1日発売（7月号）の新刊送品から JANコード体系の運用がスタートし、西暦1桁目の表記も JANコード内に組み込まれることになりました。
- ・2014年5～6月発売の、7月号より再び西暦1桁目『4』を使用することになり、**10年前の雑誌と JANコードが重複する雑誌が発生します。**
- ・但し、**重複する雑誌は下記のような『バックナンバー』に限定されます。**

■ 2004年6月から同じ雑誌コードで、現在も休刊することなく刊行が継続している定期雑誌の本誌および、その増刊別冊の『バックナンバー』

事例)

雑誌『A』…	2004年7月号	JANコード=	491 0 09971 07	<u>4</u>	1
雑誌『A』…	2014年7月号	JANコード=	491 0 09971 07	<u>4</u>	1

年号

【今後の運用】

- ・現行の西暦1桁目の運用を継続いたします。

【運用継続の理由】

- ・定期刊行物とは、『定期刊行物（雑誌）登録とソースマーキングガイド』の記述の通り、一定期間に同じ標題で発行される連続刊行物を指します。よってコード規定上は販売期限が決められており、ムック、コミックスのように販売期限が無期限ではありません。そのため、現行のコード運用上は、10年間重複せず流通できるということになっております。この運用範囲を超えた流通となる場合は、関係各位間での対処をお願いすることとなります。
- ・JANコードにある予備コードを使用して、10年以上流通することについても検討いたしました。JANコード自体が重複するバックナンバーの発生頻度は、極めて低く（全雑誌流通量の1%以下）、今後の軽減税率や新たな媒体の使用等、将来的な拡張性に鑑みて、発生頻度が高い案件に対して予備コードを使用することと再確認をいたしました。

今後とも運用継続にあたりましては、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上